



9月号 令和元年8月30日発行

菫田小だより

横浜市都筑区菫田南町694番地 [TEL.911-0149]



子どもも教職員もひとまわり大きくなって
～令和2年度の新学習指導要領全面実施に向けて～

校長 伊藤 智樹

「おはようございます!」「宿題でこれを作って持ってきたよ!」夏休みも終わり、久しぶりに学校に子どもたちの元気な声と活気が戻ってきました。子どもたちが大きな事故なく、顔を揃えられたことを本当にうれしく思いました。教室では夏休みの作品を見ながら制作した子どもが説明をしている姿が見られました。



今年の夏休みは梅雨明けが遅かったこともあり、前半の夏季水泳指導期間中は天候不順等で水泳教室の実施日が少なかったですが、梅雨明けからは一転「猛暑」、まさに暑い夏休みとなりました。各ご家庭や地域で子どもたちを見守っていただいた夏休み期間中、それぞれで培った力を基盤に更に多様な学習活動を展開して参りたいと思えます。

夏休み号の中で「これからの社会を生きる子どもたちにとって必要な力は、課題解決や協働学習・自主的学習力である」という趣旨の内容を掲載させていただきました。これらの力は、教室での座学だけでなく、様々な体験的活動や夏休み等の長期休業の中で子どもたちが調べたり、体験したりする活動、地域行事等を通して身につくものと考えます。

例年この夏休みを利用して様々な研究会・研修会に教職員は参加しますが特に来年度から新学習指導要領全面実施に向けての報告がどの研修会・研究会でも取り上げられていました。

現行の指導要領と新学習指導要領の主な変更点は以下の通りです。

- ① 高学年において、教科としての外国語科が始まります。中学年では外国語活動が導入されます。
- ② プログラミング教育が導入されます。
- ③ 現在あゆみなどで記載している評価の観点の4つから3つになります。

現行 【関心・意欲・態度】 【思考・判断・表現】 【技能】 【知識・理解】



令和2年度 【主体的に学習に取り組む態度】 【思考・判断・表現】 【知識・技能】

小学校ではプログラミング教育が導入されますが「プログラミング」という教科ができるわけではありません。「国語・算数・理科・社会」などの教科のなかに、プログラミングが導入されることとなります。授業への取り入れ方は各学校の判断となります。例えば国語の場合、プログラミングで同音異義語クイズをつくったり、算数の正多角形の学習を簡単なプログラムの指示をパソコンに出すことで手書きでは不可能だった多角形を作成し円に近づくことを実感したりすることをイメージしています。また社会科の学習では、課題解決に向けてプレゼンテーションソフト等を活用して、デモンストレーションをしたりすることも考えられます。プログラミング教育の目的は、何を行うかではなく、「論理的思考を育むこと」です。コンピューターを動かすためには、実現したいことを順序立てて考え、的確な指示を与える必要があります。このような論理的思考を育むことが、小学校のプログラミング教育の目的です。来年度実施に向けて本校も準備を進めていきたいと思えます。

